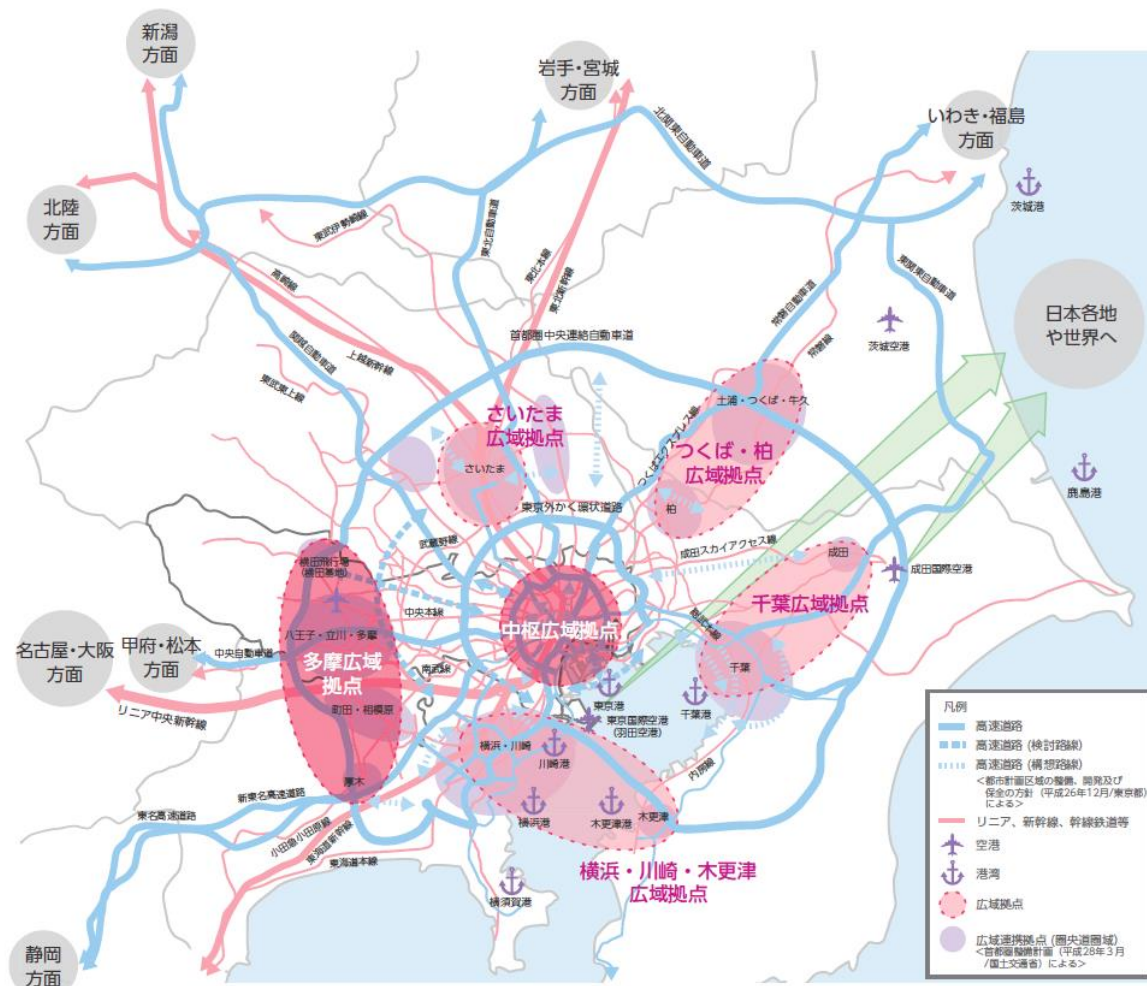


広域インフラの整備構想

空港・港湾・リニア中央新幹線

- ・ 国内外の人・モノの玄関となる羽田空港や国際貿易拠点である東京港が整備されている。
- ・ 東京・大阪間を約1時間で結ぶリニア中央新幹線が計画されている。東京都及びその近辺では、品川駅、神奈川県駅（仮称・相模原市橋本駅付近）の整備が計画されている。

<都市づくりのグランドデザインにおける「交流・連携・挑戦の都市構造」>



出典：都市づくりのグランドデザイン（平成29年9月/東京都）

高速道路ネットワーク

- 三環状道路（圏央道、外環道、中央環状道）の整備を促進するとともに、ミッシングリンクの解消（晴海線Ⅱ期、高速10号練馬線）や広域的な交流・連携を促す路線（第二東京湾岸道路、多摩新宿線、核都市広域幹線道路）について検討を進めるとされている。

<高速道路ネットワーク>

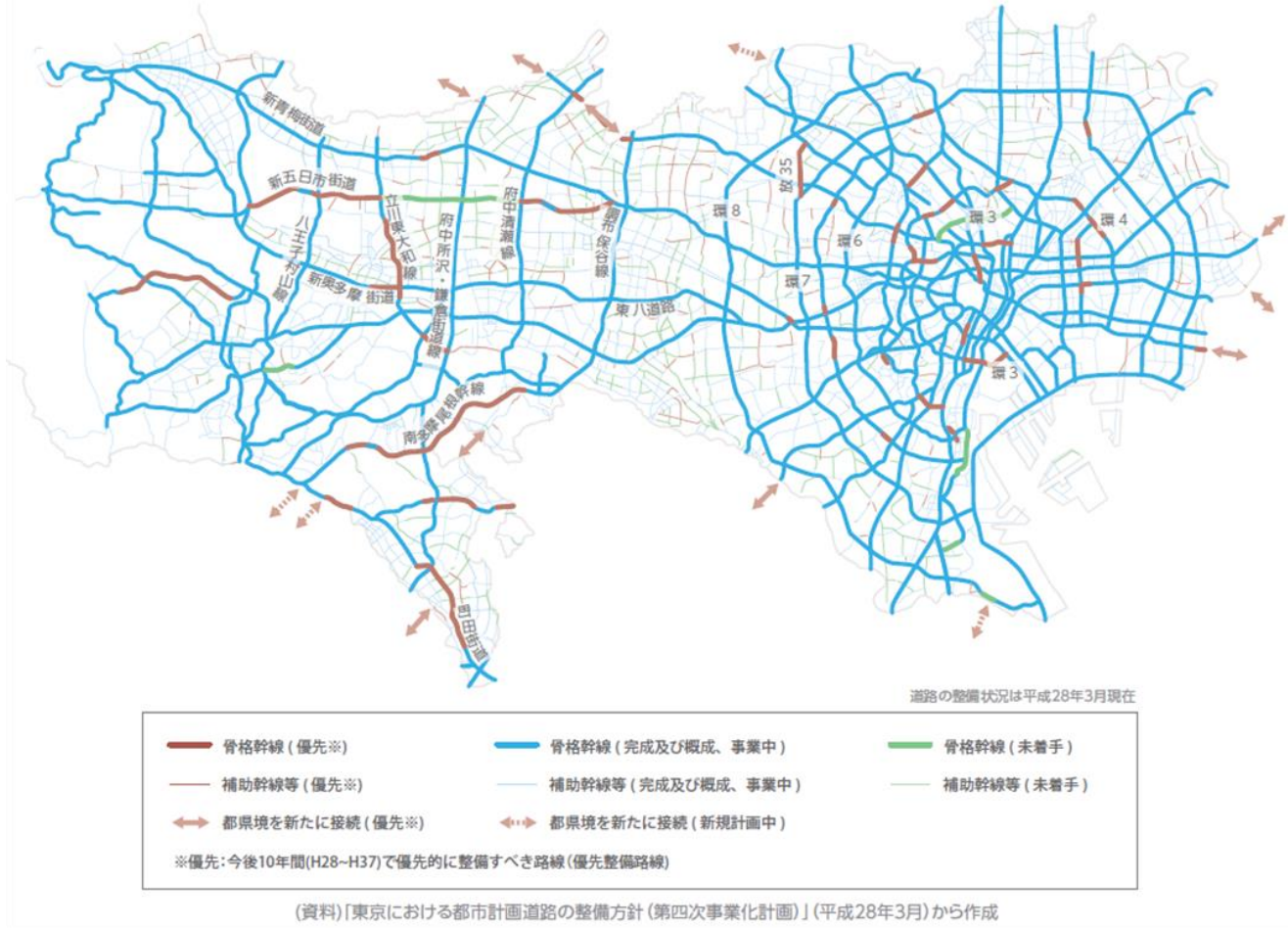


(資料)「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」(平成26年12月)から作成

都市計画道路ネットワーク

- 骨格幹線道路の整備により、都内や隣接権を広域的に連絡する道路ネットワークの形成が進められている。また、地域を支える補助幹線道路の整備により、骨格幹線道路や鉄道駅を結ぶ道路ネットワークの形成が進められている。

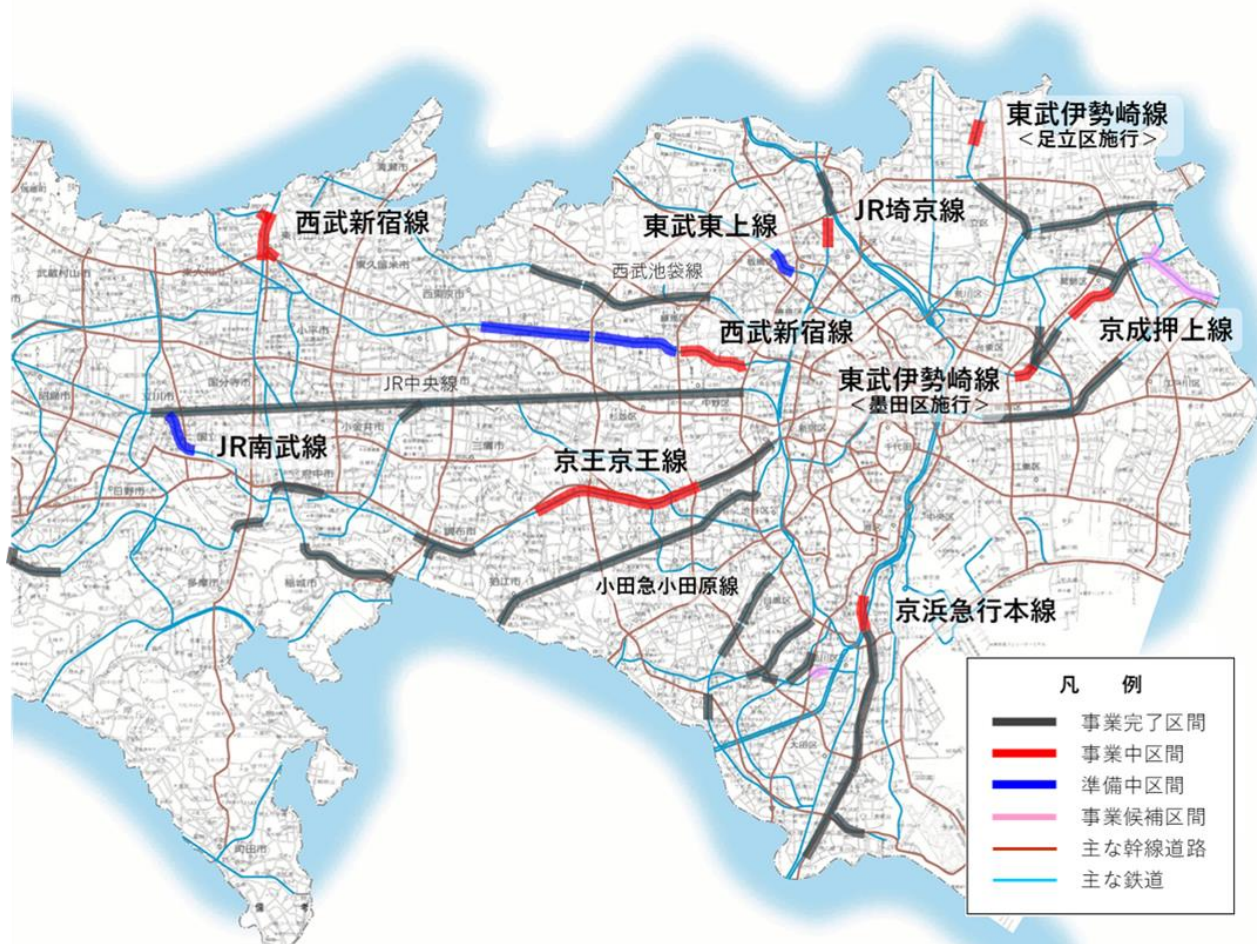
<都市計画道路ネットワーク>



連続立体交差事業

- 連続立体交差事業は、踏切による交通渋滞の解消や、鉄道により分断されていた市街地の一体化、高架下空間の活用など周辺のまちづくりに寄与する極めて効果の大きな事業である。
- 現在、東京都内では京王京王線や西武新宿線など6路線8箇所で開催されている。

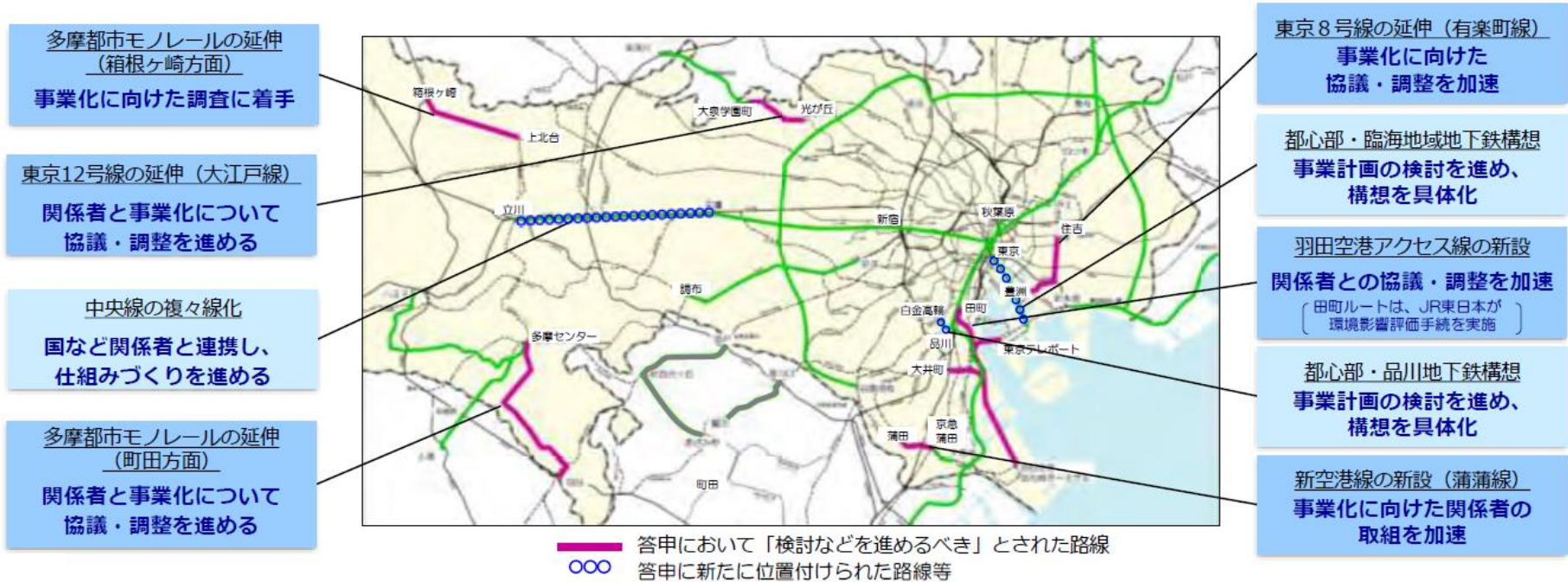
<連続立体交差事業箇所>



鉄道ネットワーク

- 羽田空港アクセス新線、新空港線新設、東京8号線延伸、東京12号線延伸、多摩都市モノレール延伸、都心部・臨海地域地下鉄構想、都心部。品川地下鉄構想、中央線の複々線化など各路線について、鉄道事業者を始めとする関係者との協議・調整を加速し、調整が整った路線から順次事業に着手するとしている。

< 国の交通政策審議会答申において位置付けられた路線 >



多摩都市モノレールの延伸
(箱根ヶ崎方面)
事業化に向けた調査に着手

東京12号線の延伸 (大江戸線)
関係者と事業化について
協議・調整を進める

中央線の複々線化
国など関係者と連携し、
仕組みづくりを進める

多摩都市モノレールの延伸
(町田方面)
関係者と事業化について
協議・調整を進める

東京8号線の延伸 (有楽町線)
事業化に向けた
協議・調整を加速

都心部・臨海地域地下鉄構想
事業計画の検討を進め、
構想を具体化

羽田空港アクセス線の新設
関係者との協議・調整を加速
(田町ルートは、JR東日本が
環境影響評価手続を実施)

都心部・品川地下鉄構想
事業計画の検討を進め、
構想を具体化

新空港線の新設 (蒲蒲線)
事業化に向けた関係者の
取組を加速

多摩地域における将来の道路・交通ネットワーク

- 都市づくりのグランドデザインにおいて、多摩地域の道路・交通ネットワークを強化し、拠点間の連携を強化することが取組として掲げられている。
- リニア中央新幹線の神奈川県駅（仮称）や横田基地へのアクセス整備、多摩南北道路や南多摩尾根幹線の整備に加え、多摩都市モノレール延伸検討の深度化等を図るとしている。

<多摩地域における将来の道路・交通ネットワークのイメージ>

